

(様式2)

京丹後市再生可能エネルギー導入に向けたゾーニング報告書（案）の概要

1 趣旨

2020年10月、日本政府は、2050年カーボンニュートラルを宣言。2021年4月には、2030年度に温室効果ガスを2013年度比で46%削減することを目指すこと、さらに、50%の高みに向け挑戦を続けることを表明し、同年10月に地球温暖化対策計画を改定しました。

本市では、この様な国の動きも踏まえ、2020年12月に2050年ゼロカーボンシティを宣言し、その実現に向けた取組の道筋を示すものとして脱炭素ロードマップを策定しています。

本ゾーニング報告書は、脱炭素社会実現に向けて、ゾーニングに用いたエリア設定に関する考え方を示すことで、本市における適切な再生可能エネルギーの導入促進と環境の保全を両立させることを目的とするものです。

2 構成

(1) ゾーニング概要

背景・目的／基本的な考え方／手法／実施した調査等／地域への周知・理解促進

(2) ゾーニング結果

太陽光発電／陸上風力発電

(3) 発電事業の具体化に向けた情報処理

地域との共生に係る事項／事業の具体化擦る際の独自に把握すべき情報整理

(4) 参考資料

個別レイヤー（保全エリア）／個別レイヤー（調整エリア）

参考資料

3 策定期日

令和6年2月中の策定を予定しています。

4 その他

ゾーニングの結果を踏まえ、京丹後市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）において、「脱炭素促進事業の対象となる区域」を位置付けます。